



WEB

BLOG



共に「杉戸の未来」を切り拓こう、
いつも、私たちは変化の先頭に。

これからの杉戸町について、議会報告をご覧ください。【2月18日(火) 一般質問より】

ふるさと納税を活用し歳入をアップする
手法を何故やらないのか？



歳入アップの施策は？



五霞町は10年間で2億円以上増えた。
企業・住民・行政が三位一体となった
協働でのまちづくりが根付いた結果。



町全体の組織体制や職員数の問題等
あるのが出来るものは速やかに行う。
各課を横断するプロジェクトチームは検
討する。

議会での質問を経て、2025年5月に発足!

下野久喜線の今後は？



令和5年国土交通省が橋梁の集約と
撤去を進める方針。
町にも203の橋があり、数年で50年
を超える橋も。つくるよりも維持管理
にお金がかかるんです。

市と町で橋を施工した例はあるのか。
久喜市は令和7年度にむけて68.5億円
の削減目標額を掲げています。その見直
し事業に橋は含まれているのか？



施工例はない。久喜市の令和7年度見直
し事業の中に、予算は含まれていません。

職員の働き方改革を!



私たち建設業は、各現場にはいる際にも
スマホで勤怠記録を行っています。
簡単な管理でもおこなうべきではない
でしょうか。この時代に、個人の報告で
よいのでしょうか。

町の職員には勤怠管理システムが導入
されていない。職員の申告により管理
されている。何故導入しないのか。



システム導入費用(約1,000~1,500万円)
ランニングコスト(年間約300~400万円)
程度の費用負担が必要になる。町の財政
事情考慮した費用対効果という観点から
すると、導入には慎重な判断が必要。



活動報告(裏面)もご覧ください。

2023年8月からの実績報告

議会改革 DX推進



- 議員就任直後より議会のペーパーレス化・DX化を提案。
- 当初は「パソコン持ち込みは議会の品位を損なう」との意見もあったが、議会改革検討委員会で粘り強く議論を重ね、2024年度よりペーパーレス化を実現。
- 2025年度からはGIS機能を備えたデジタル地図の導入を実現（2024年9月議会でのDX関連質問による成果）。



地域 インフラ まちづくり



- 杉戸高野台駅西口補修工事に関する付帯決議を2024年3月議会にて提出。
⇒ **タイル部分工事から2カ年かけた全面舗装工事へと拡充。**
- 2025年3月議会にて、アグリパーク直売所の増築に反対。
⇒ **議会付帯決議により、屋根・外壁補修工事のみの実施に見直し**
- 2024年12月議会にて「日光街道杉戸宿」の今後について質問。
⇒ **象徴的な文化資産である「角穀跡」売却問題を町に問う（課題は継続審議中）**

環境 文化行政



- 2024年9月議会にて、杉戸町環境会議による請願の紹介議員を務める。
⇒ **2025年3月議会にて、埼玉県による再認定を実現。**
- 2024年6月議会にて、県指定天然記念物の追加指定が町長の独断で行われた件を追及。
⇒ **ガバナンスの透明性確保を訴える。**

広報活動 住民との 情報共有

- 議会だより委員会として2024年6月号の表紙を担当。
⇒ **全国コンクールにて第3位を獲得。**

杉戸宿象徴
角穀跡



タイル補修か
ら全面舗装へ



アーチをふさいで
直売所増築は
反対



下野の森
無事埼玉県で
承認



DX化となり
ipadが支給



GIS機能をもったデジタル地図



杉戸町議会だより
デザインが
全国3位に



くりはら たけのり 後援会
事務所

北葛飾郡杉戸町杉戸416-11
✉ e_takenori@yahoo.co.jp

TEL 080-3121-0164